



## 実施料包括項目

1回に採取した血液を用いて下記の項目数以上を行なった場合は項目数により所定点数となる。

生化学的検査 I (血液化学検査)	実施料 (点数)	生化学的検査 II (内分泌検査)	実施料 (点数)
総ビリルビン	11	成長ホルモン(GH)	105
直接ビリルビン又は抱合型ビリルビン	11	卵胞刺激ホルモン(FSH)	105
総蛋白	11	C-ペプチド(CPR)	105
アルブミン	11	黄体形成ホルモン(LH)	105
尿素窒素	11	テストステロン	119
クレアチニン	11	遊離サイロキシシン(FT4)	121
尿酸	11	遊離トリヨードサイロニン(FT <sub>3</sub> )	121
アルカリホスファターゼ(ALP)	11	コルチゾール	121
コリンエステラーゼ(ChE)	11	アルドステロン	122
γ-グルタミルトランスフェラーゼ(γ-GT)	11	サイロキシシン結合グロブリン(TBG)	130
中性脂肪	11	サイログロブリン	128
ナトリウム及びクロール	11	ヒト絨毛性ゴナドトロピン-βサブユニット(HCG-β)	129
カリウム	11	脳性Na利尿ペプチド(BNP)	130
カルシウム	11	カルシトニン	130
マグネシウム	11	ヒト絨毛性ゴナドトロピン(HCG)定量	130
クレアチン	11	ヒト絨毛性ゴナドトロピン(HCG)半定量	130
グルコース	11	抗グルタミン酸デカルボキシラーゼ抗体(抗GAD抗体)	134
乳酸デヒドロゲナーゼ(LD)	11	脳性Na利尿ペプチド前駆体N端フラグメント(NT-proBNP)	136
アミラーゼ	11	ヒト胎盤性ラクトゲン(HPL)	136
ロイシニアミノペプチダーゼ(LAP)	11	サイロキシシン結合能(TBC)	137
クレアチンキナーゼ(CK)	11	プロゲステロン	143
アルドラーゼ	11	グルカゴン	150
遊離コレステロール	11	低カルボキシル化オステオカルシン(ucOC)	154
鉄(Fe)	11	I型コラーゲン架橋N-テロペプチド(NTX)	156
血中ケトン体・糖・クロール検査 (試験紙法・アンプル法・固定化酵素電極によるもの)	11	酒石酸抵抗性酸ホスファターゼ(TRACP-5b)	156
不飽和鉄結合能(UIBC)(比色法)	11	オステオカルシン(OC)	157
総鉄結合能(TIBC)(比色法)	11	遊離テストステロン	159
リン脂質	15	骨型アルカリホスファターゼ(BAP)	157
HDL-コレステロール	17	インタクトI型プロコラーゲン-N-プロペプチド(Intact PINP)	163
無機リン及びリン酸	17	低単位ヒト絨毛性ゴナドトロピン(HCG)半定量	165
総コレステロール	17	I型コラーゲン架橋C-テロペプチド-β異性体(β-CTX)(尿)	169
アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ(AST)(GOT)	17	I型コラーゲン架橋C-テロペプチド-β異性体(β-CTX)	170
アラニンアミノトランスフェラーゼ(ALT)(GPT)	17	I型プロコラーゲン-N-プロペプチド(PINP)	160
LDL-コレステロール	18	副甲状腺ホルモン(PTH)	161
蛋白分画	18	カテコールアミン分画	161
銅(Cu)	23	デヒドロエピアンドロステロン硫酸抱合体(DHEA-S)	164
リパーゼ	24	サイクリックAMP(cAMP)	165
イオン化カルシウム	26	エストラジオール(E <sub>2</sub> )	167
マンガン(Mn)	27	エストリオール(E <sub>3</sub> )	180
		エストロゲン半定量	180
		エストロゲン定量	180
		副甲状腺ホルモン関連蛋白C端フラグメント(C-PTHrP)	180
		副甲状腺ホルモン関連蛋白(PTHrP)	186
		副腎皮質刺激ホルモン(ACTH)	184
		カテコールアミン	184
		デオキシピリジノリン(DPD)(尿)	191
		17-ケトジェニックスステロイド(17-KGS)	200
		エリスロポエチン	209
		ソマトメジンC	212
		17-ケトステロイド分画(17-KS分画)	213
		17α-ヒドロキシプロゲステロン(17α-OHP)	213
		抗IA-2抗体	213
		プレグナンジオール	224
		メタネフリン	217
		メタネフリン・ノルメタネフリン分画	220
		17-ケトジェニックスステロイド分画(17-KGS分画)	220
		心房性Na利尿ペプチド(ANP)	221
		抗利尿ホルモン(ADH)	224
		プレグナントリオール	232
		ノルメタネフリン	250
		インスリン様成長因子結合蛋白3型(IGFBP-3)	280
		遊離メタネフリン・遊離メタネフリン分画	450
包括項目: 5項目以上7項目以下	93	包括項目: 3項目以上5項目以下	410
包括項目: 8項目または9項目	99	包括項目: 6項目または7項目	623
包括項目: 10項目以上	103	包括項目: 8項目以上	900



# 参考文献

- 微生物**  
 微生物一般  
 一般細菌・真菌塗抹鏡検  
 一般細菌培養・同定  
 嫌気性菌同定  
 薬剤感受性  
 マイコプラズマ培養・抗原  
 MRSA耐性遺伝子  
 A群溶連菌抗原迅速試験  
 肺炎球菌抗原  
 髄膜炎菌抗原  
 インフルエンザ型抗原  
 カンジダ抗原  
 抗酸菌鏡検  
 抗酸菌培養  
 抗酸菌感受性  
 抗酸菌同定  
 抗酸菌群核酸同定  
 結核菌群核酸同定  
 トリコモナス鏡検  
 レプトスピラ鏡検  
 赤痢アメーバ  
 カリニ原虫鏡検  
 クリプトスポリジウム鏡検  
 クラミジア トロモマイシ核酸同定  
 クロストリジウム ディフィシル毒素  
 フドウ球菌 エンテロキシン  
 フドウ球菌TSST-1
- 小栗豊子編集:微生物検査ハンドブック  
 三輪谷俊夫 監修:図説臨床検査.細菌・真菌学:  
 医歯薬出版  
 三輪谷俊夫 監修:図説臨床検査.細菌・真菌学:  
 医歯薬出版  
 上野一恵 他:日本細菌学会編細菌学技術叢書,  
 1980年,菜根出版  
 Approved Standards.NCCLS Document M2-  
 A4.Villanova.Pa.(1990)  
 日本細菌学会編細菌学技術叢書2.1982.菜根出版  
 生方公子 他臨床と微生物19.141-148(1992)  
 杉田也 他耳鼻臨床79.1437,1442(1986)  
 Edwards. E. A. et al:Militt. Med. 145,256(198)  
 Denis F. ,et al:Lancet.1.(8234)1361(1981)  
 Shively. R. G. ,et al:J. Microbial. 14.706(1981)  
 浜本恒夫:Japanese Journal of Medical  
 Mycology.26.288,275(1985)  
 東堤 稔:臨床と微生物.vol.18.No.1(1991)  
 Public Health Mycobacteriology.A Guide For  
 The Level III Laboratory 1985 U.S Department  
 of Health and Human Service  
 結核菌検査指針,厚生省(1979)  
 日本結核病学会抗酸菌分類委員会:結核.vol.51,247-256  
 楠 伸治 他臨床病理38,321(1990)  
 島田 馨:感染症学雑誌66(1),81-86(1992)  
 吉村 裕之 編寄生学新書,文光堂  
 厚生省監修:微生物検査必携,細菌・真菌検査法第2版(1987)  
 吉村 裕之 編寄生学新書,文光堂  
 吉村 裕之 編寄生学新書,文光堂  
 井関 基弘:モダンメディア,32(9),489-498(1988)  
 松田清治:産婦人科治療,56(6),664-670(1988)  
 上野一恵 他検査,14(2),3(1984)  
 小田隆弘:日細誌,33,743(1978)  
 Igarashi H. et al:Infect Immun. 44,475(1984)
- 血清蛋白**  
 血清総蛋白  
 アルブミン  
 血清蛋白分画  
**■窒素化合物**  
 尿酸  
 尿素窒素  
 クレアチニン  
 クレアチン  
 アンモニア  
 尿中アミノ酸  
 フロウラーケンⅢヘプタド  
 IV型コーラーケン・7S  
 アミノ酸分析(血液・髄液・尿)
- 臨床検査法提要改訂第35版(2020)  
 広範囲血液・尿化学検査:日本臨床第7版(2009)  
 臨床検査データブック 2019-2020  
 臨床検査法提要改訂第35版(2020)  
 広範囲血液・尿化学検査:日本臨床第7版(2009)  
 臨床検査データブック 2019-2020  
 臨床検査法提要改訂第35版(2020)  
 広範囲血液・尿化学検査:日本臨床第7版(2009)
- 臨床検査法提要改訂第35版(2020)  
 広範囲血液・尿化学検査:日本臨床第7版(2009)  
 臨床検査データブック 2019-2020  
 臨床検査法提要改訂第35版(2020)  
 高尿酸血症・痛風の治療ガイドライン第3版(2019改訂)  
 臨床検査法提要改訂第35版(2020)  
 広範囲血液・尿化学検査:日本臨床第7版(2009)  
 臨床検査データブック 2019-2020  
 臨床検査法提要改訂第35版(2009)  
 影山(信雄):Medical Technology,15(2),127(1987)  
 臨床検査データブック 2019-2020  
 臨床検査法提要改訂第35版(2020)  
 臨床検査法提要改訂第35版(2020)  
 中野博 他:肝臓24,975(1988)  
 三崎盛治 他:医学と薬学,20(5),1286(1988)  
 鹿野重蔵:科学の領域増刊号,121(1978)
- 脂質・関連物質**  
 総コレステロール  
 エステル型コレステロール  
 遊離コレステロール  
 HDL-コレステロール  
 LDL-コレステロール  
 中性脂肪
- 遊離脂肪酸  
 リン脂質  
 総脂質  
 総胆汁酸  
 リポ蛋白分画(泳動法)  
 リポ蛋白(a)  
 コレステロール分画定量  
 リポ蛋白D(リポタン)分画定量  
 リポ蛋白リン脂質分画定量  
 アポリポ蛋白  
**■酵素**  
 AST(GOT)  
 ALT(GPT)  
 γ-GTP  
 アデニンデアミナーゼ  
 グルターゼ  
 CPK(CK)  
 CK-MB  
 ミオシン軽鎖 I  
 ALP  
 コリンエステラーゼ  
 トリプシン  
 エラスターゼ-1  
 リパーゼ  
 藤ホスホリパーゼ<sup>2</sup>  
 アミラーゼ(血清・尿)  
 P型アミラーゼ(アミラーゼ アイソザイム)  
 尿中NAG活性  
 LAP  
 ACE  
 リゾチーム  
 アルダーゼ  
 LDH(乳酸脱水素酵素)
- アミノ酸**  
 CPKアイソザイム  
 ALPアイソザイム  
 アミラーゼアイソザイム  
 LDHアイソザイム
- 糖質・関連物質**  
 血糖  
 ヘモグロビンA1c  
 1.5-AG  
 グリコアルブミン  
 ヒアルロン酸  
 ビルヒン酸  
 乳酸  
 ケトン体分画  
 Δ蛋白  
 シアル酸  
**■生体色素・関連物質**  
 ビルビリン(総・直)
- 臨床検査法提要改訂第35版(2020)  
 臨床検査法提要改訂第35版(2020)  
 Medical Technology.脂質のすべて(1980)  
 真重文子:臨床検査,23(2),129,1979  
 臨床検査法提要改訂第35版(2020)  
 広範囲血液・尿化学検査:日本臨床第7版(2009)  
 野間昭夫:医学のあゆみ,168(11),995,1994  
 板倉弘重:日本臨床 秋季増刊,333(1985)  
 板倉弘重:日本臨床 秋季増刊,333(1985)  
 板倉弘重:日本臨床 秋季増刊,333(1985)  
 伊藤忠一:検査と技術,16(7)増刊号,593(1988)  
 臨床検査法提要改訂第35版(2020)  
 広範囲血液・尿化学検査:日本臨床第7版(2009)  
 臨床検査データブック 2019-2020  
 臨床検査法提要改訂第35版(2020)  
 広範囲血液・尿化学検査:日本臨床第7版(2009)  
 臨床検査データブック 2019-2020  
 臨床検査法提要改訂第35版(2020)  
 広範囲血液・尿化学検査:日本臨床第7版(2009)  
 臨床検査データブック 2019-2020  
 臨床検査法提要改訂第35版(2020)  
 広範囲血液・尿化学検査:日本臨床第7版(2009)  
 臨床検査データブック 2019-2020  
 江頭静摩 他:血清・現代の診療,24,131(1982)  
 伊東進:肝胆臓,11(3),448(1985)  
 臨床検査法提要改訂第35版(2020).血液・尿化学検査  
 臨床検査データブック 2019-2020  
 初山弘幸 他:医学と薬学,29(3),675(1983)  
 矢崎義雄 他:最新医学,44(8),1708(1989)  
 臨床検査法提要改訂第35版(2020)  
 日本臨床化学会:臨床化学,19(2),209,1991  
 臨床検査法提要改訂第35版(2020)  
 広範囲血液・尿化学検査:日本臨床第7版(2009)  
 臨床検査データブック 2019-2020  
 早川哲夫 他:日消会誌,76,1513(1979)  
 早川哲夫:臨床成人病,11(8),1295(1981),  
 中野哲:胆と膵,2,1185(1981)  
 福山はる 他:血清リパーゼ測定の基礎的検討と臨床的意義,(1990)  
 森武貞,小川道雄:現代医療,20(10),3013(1988)  
 臨床検査法提要改訂第35版(2020)  
 広範囲血液・尿化学検査:日本臨床第7版(2009)  
 高木康:Lab. Clin. Pract. 6(2),47(1988)  
 芝紀代子:臨床検査,32(11),1222,(1988)  
 臨床検査法提要改訂第35版(2020)  
 広範囲血液・尿化学検査:日本臨床第7版(2009)  
 臨床検査データブック 2019-2020  
 Kasahara Y. et al:Clin. cham,27,1922(1981)  
 北村元仕:実践臨床化学,376  
 宮原洋一:Med.Technol.,12,157(1984)  
 臨床検査法提要改訂第35版(2020)  
 広範囲血液・尿化学検査:日本臨床第7版(2009)  
 臨床検査法提要改訂第35版(2020)  
 臨床検査法提要改訂第35版(2020)  
 臨床検査法提要改訂第35版(2020)  
 河合厚生:臨床検査,33(8),901(1989)  
 臨床検査法提要改訂第35版(2020)  
 藤田清貴:衛生検査,23(10),1257(1979)  
 A. Hamai et al:Agric Bici Chem. 532 163(1989)  
 北村元仕:実践臨床化学,430  
 北村元仕:実践臨床化学,425  
 安原正善 他:臨床検査・機器,8(3),614(1985)  
 Lipton A. et al:Cancer43,1766-1771(1979)  
 近藤孝司 他:臨床病理,36,536(1991)  
 臨床検査法提要改訂第35版(2020)  
 広範囲血液・尿化学検査:日本臨床第7版(2009)  
 臨床検査データブック 2019-2020

コロホドールフリン(定量) M. Salmi: Clinical Chemistry 1832 26(13)(1980)  
 ウロホドールフリン(定量) 近藤雅雄, 広沢実一: 臨床化学, 17(1), 36(1988)  
 プロホドールフリン(定量) M. Salmi: Clinical Chemistry 1832 26(13)(1980)  
 コロホドールフリン定性(尿中) 臨床検査法提要改訂第35版(2020)  
 コロホドールフリン定量(尿中) A. A. Ferrnandez: Assay of Vninary Porphyrus. Clinical Chemistry. 12(8), 463(1966)  
 ウロホドールフリン定量(尿中) A. A. Ferrnandez: Assay of Vninary Porphyrus. Clinical Chemistry. 12(8), 463(1966)  
 ホルホビリンゲン定量(尿中) 浦田群平: 臨床化学分析Ⅱ 2版, 216(1979)  
 ミオグロビン 臨床検査法提要改訂第35版(2020)

**■電解質・無機質**  
 ナトリウム, カロル, カリウム(血清・尿) 臨床検査法提要改訂第35版(2020)  
 広範囲血液・尿化学検査: 日本臨床, 第7版(2009)  
 臨床検査データブック 2019-2020  
 臨床検査法提要改訂第35版(2020)  
 広範囲血液・尿化学検査: 日本臨床, 第7版(2009)  
 臨床検査データブック 2019-2020  
 中本潤子 他: 機器・試薬, 264(1978)  
 臨床検査法提要改訂第35版(2020)  
 広範囲血液・尿化学検査: 日本臨床, 第7版(2009)  
 臨床検査法提要改訂第35版(2020)  
 臨床検査法提要改訂第35版(2020)  
 広範囲血液・尿化学検査: 日本臨床, 増刊号(1999)  
 臨床検査データブック 2019-2020  
 臨床検査法提要改訂第35版(2020)  
 広範囲血液・尿化学検査: 日本臨床, 増刊号(1999)  
 臨床検査データブック 2019-2020  
 臨床検査法提要改訂第35版(2020)  
 広範囲血液・尿化学検査: 日本臨床, 増刊号(1999)

カルシウム(血清・尿) 臨床検査法提要改訂第35版(2020)  
 広範囲血液・尿化学検査: 日本臨床, 第7版(2009)  
 臨床検査データブック 2019-2020  
 臨床検査法提要改訂第35版(2020)  
 広範囲血液・尿化学検査: 日本臨床, 増刊号(1999)  
 臨床検査データブック 2019-2020  
 臨床検査法提要改訂第35版(2020)  
 広範囲血液・尿化学検査: 日本臨床, 増刊号(1999)

イオン化カルシウム 中本潤子 他: 機器・試薬, 264(1978)  
 無機リン(血清・尿) 臨床検査法提要改訂第35版(2020)  
 広範囲血液・尿化学検査: 日本臨床, 第7版(2009)  
 臨床検査法提要改訂第35版(2020)  
 臨床検査法提要改訂第35版(2020)  
 広範囲血液・尿化学検査: 日本臨床, 増刊号(1999)  
 臨床検査データブック 2019-2020  
 臨床検査法提要改訂第35版(2020)  
 広範囲血液・尿化学検査: 日本臨床, 増刊号(1999)

マグネシウム(血清・尿) 臨床検査法提要改訂第35版(2020)  
 血清鉄 臨床検査法提要改訂第35版(2020)  
 広範囲血液・尿化学検査: 日本臨床, 増刊号(1999)  
 臨床検査データブック 2019-2020  
 臨床検査法提要改訂第35版(2020)  
 広範囲血液・尿化学検査: 日本臨床, 増刊号(1999)

総鉄結合能 臨床検査法提要改訂第35版(2020)  
 広範囲血液・尿化学検査: 日本臨床, 増刊号(1999)  
 臨床検査データブック 2019-2020  
 臨床検査法提要改訂第35版(2020)  
 広範囲血液・尿化学検査: 日本臨床, 増刊号(1999)

不飽和鉄結合能 臨床検査法提要改訂第35版(2020)  
 広範囲血液・尿化学検査: 日本臨床, 増刊号(1999)  
 臨床検査データブック 2019-2020  
 臨床検査法提要改訂第35版(2020)  
 広範囲血液・尿化学検査: 日本臨床, 増刊号(1999)

銅(血清・尿) 臨床検査法提要改訂第35版(2020)  
 広範囲血液・尿化学検査: 日本臨床, 増刊号(1999)

亜鉛(血清・尿) Makino T. et al: Clin. Chem. Acta, 120, 127-135(1982)  
 リチウム 渡辺昌祐: 基礎と臨床(1983)

**■機能検査**  
 クレアチニン クリアランス 日本腎臓学会編CDK診療ガイド2012  
 日本人における糸球体濾過量(GFR)推算式の比較検討 日腎会誌2006  
 XI 腎機能検査 尿素クリアランス medicina 12巻4号  
 臨床検査法提要改訂第35版(2020)  
 臨床検査法提要改訂第35版(2020)  
 衣笠勝彦 他: 臨床病理 夏季増刊号, 37, 2441(1979)  
 Amylase Creatinine Clearance Ratio(ACCR)に関する基礎的・臨床的研究  
 日本消化器学会雑誌 第78巻第4号

尿素クリアランス  
 フィッシュバーグ濃縮試験  
 ICG試験  
 PFD試験  
 アミラーゼ・クレアチニンクリアランス比

**■ホルモン**  
 GH 石渡尚子: ホルモンと臨床, 36(6), 601-606(1990)  
 SM-C 立花克彦 他: ホルモンと臨床, 42(12), 1175(1994)  
 プロラクチン 青野敏博 他: ホルモンと臨床, 37, 441(1989)  
 ACTH 武郡和夫: 日本臨床, 44(3), 105(1986)  
 TSH 満間照典 他: 医学と薬学(1986).  
 三浦義孝 他: ホルモンと臨床(1986).  
 LH 青野敏博 他: ホルモンと臨床, 36, 1087(1988)  
 FSH 青野敏博 他: ホルモンと臨床, 36, 1087(1988)  
 T<sub>3</sub> 高原淑子 他: ホルモンと臨床, 27(11), 97(1979)  
 T<sub>4</sub> 日本臨床, 805(1985)  
 FT<sub>3</sub> 佐藤竜次: 医学と薬学, 29(5), 1261(1993)  
 FT<sub>4</sub> 竹岡啓子 他: 臨床化学, 29(12), 1673(1993)  
 TBG 竹新一 他: 甲状腺学, 149(1984)  
 サイログロブリン 岡田敏春 他: ホルモンと臨床, 31, 589(1983)  
 抗サイログロブリン抗体 家人蒼生夫 他: 医学と薬学, 27, 615(1992)  
 コルチゾール 地曳和子: ホルモンと臨床, 28, 1127(1980)  
 コルチゾール(尿) 佐藤藤史 他: ホルモンと臨床, 36, 823(1988)  
 17-KGS(総) 神戸川明 他: 臨床病理, 19, 302(1971)  
 レニン活性 荻原俊男 他: 5(4), 589(1981)  
 活性型レニン定量 土屋ますみ 他: 医学と薬学, 32(3), 529(1994)  
 アルドステロン E. Youssefneladian: STEROIDS 63 July(1973)  
 カテコールアミン3分画 船橋修之 他: 臨床検査機器・試薬, 11(4), 635(1988)  
 メタネアリン分画 永津慢次: 臨床化学, 3, 364(1975)  
 パニールマンテル酸 小山純一: 分析化学, 33, 347(1990)

ホモバニリン酸  
 インスリン  
 インスリン抗体  
 C-ペプチド  
 ヘブシノゲン (血中) エストラジオール(E<sub>2</sub>)  
 プロゲステロン(黄体ホルモン)  
 HCG(血清・尿)(絨毛性ゴナドトロピン)  
 HCGβサブユニット  
 HGS(HPL)(ヒト胎盤性ラクトゲン)  
 テストステロン  
 カルトニン  
 セロニン  
 5-HIAA  
 BNP(ヒト心房性ナトリウム利尿ペプチド)  
 NT-proBNP  
 エリスロエチン

**■ビタミン**  
 ビタミンA 勝井五一郎: ビタミン, 56(2), 97(1982)  
 ビタミンB<sub>1</sub> 安田和人: 臨床病理, 6, 564(1981)  
 ビタミンB<sub>2</sub> 大石誠子, 八木国夫: ビタミン研究実験講座, 3, 57(1983)  
 ビタミンB<sub>6</sub> Sunsdarsan. P. R. et al: Method Enzymol, 18, 509(1970)  
 ビタミンB<sub>12</sub> 田中信夫 他: 医学と薬学, 5(2), 241(1981)  
 ビタミンC 荒川信彦, 大塚恵: 臨床検査, 26, 19(1982)  
 葉酸 外林秀紀: 医学と薬学, 5(2), 255(1981)

**■薬剤・産業医学検査**  
 ジゴキシン 佐藤友英 他: 臨床検査, 32(12), 1459(1988)  
 フェニトイン 三枝孝至 他: 臨床検査機器試薬, 8(4), 857(1985)  
 フェノバルビタール 三枝孝至 他: 臨床検査機器試薬, 8(4), 857(1985)  
 フリドリン Oellerich M.: J. Clin. Chim. Biochem, 18, 197(1980)  
 カルバマゼピン 三枝孝至 他: 臨床検査機器試薬, 8(4), 857(1985)  
 ハルプロ酸 三枝孝至 他: 臨床検査機器試薬, 8(4), 857(1985)  
 サリチル酸(アスピリン) 野口佳男 他: 基礎と臨床, 21(1), 511(1987)  
 プロカインアミド 藤田優生 他: 臨床と研究, 6(7), 2367(1985)  
 プロフロノール Ahnoff. M. et al: Chromatogr, 340, 73(1985)  
 マルレキサト 菱田広 他: 病院薬学, 10(6), 413(1984)  
 テオフィリン 石井彰: 臨床成人病, 20(10), 74(1990)  
 メル馬尿酸 酒井公 他: 産業医学, 31, 9(1989)  
 総三塩化物 城山康 他: 松仁会医誌, 25(2), 225(1986)

**■梅毒血清反応・非ウイルス感染症**  
 RPR法 臨床検査法提要改訂第32版(2005)  
 広範囲血液・尿化学検査: 日本臨床, 第7版(2009)  
 臨床検査データブック 2019-2020  
 産婦人科の実際 49(11): 1471~1479, 2000(一部改変)  
 臨床検査法提要改訂第32版(2005)  
 広範囲血液・尿化学検査: 日本臨床, 第7版(2009)  
 臨床検査データブック 2019-2020  
 加野象次郎: 日本臨床, Vol. 53, 増刊号, (1985)  
 Aoyama T et al: Am J Dis Child 143, 655(1989)  
 川名称治: ウイルス・リケッチャ検査, 2, 240(1978)  
 Walter J. S. et al: Dis. Chest. 53, 729(1968)  
 Anderson S. E. and Remington J. S.  
 Cesbron J. Y. 他: J. Immunol Methods. 83, 151(1985)  
 国立予衛衛生研究所学友会編: リケッチャ・ウイルス実験学各論改訂第2版, 丸善(1982)  
 厚生省監修: 微生物検査必携, ウイルス・リケッチャ検査, 第2版  
 別所敬子 他: 医学のあゆみ, 128, 571(1984)

TP抗体法  
 ASO  
 百日咳菌抗体  
 マイコプラズマ抗体(CF)  
 アスペルギルス抗体  
 トキソプラズマ抗体IgG  
 トキソプラズマ抗体IgM  
 ツツガム抗体IgG・IgM  
 オウム病抗体  
 クラミア・トラコマチス抗体IgG・IgM

**■ウイルス血清反応**  
 ムンプスIgG-EIA 山中哲夫: 医学と薬学, 42, 303(1999)  
 ムンプスIgM-EIA 厚生省監修: 微生物検査必携, ウイルス・リケッチャ検査, 第3版, 48(1987)  
 麻疹IgG-EIA 厚生省監修: 微生物検査必携, ウイルス・リケッチャ検査, 第3版, 48(1987)

小山純一: 分析化学, 33, 347(1990)  
 中川昌一 他: 日本臨床, 38, 春季増刊, 1041(1980)  
 中川昌一 他: 糖尿病, 15(6), 403(1972)  
 松江良一 他: 医学と薬学, 7, 494(1982)  
 三木一正編集: ヘブシノゲン法, 医学書院  
 Ratcliff W. et al: Ann. Clin. Biochem. 25, 466(1988)  
 牧野恒久 他: ホルモンと臨床, 36, 975(1988)  
 飯野考一 他: 産婦人科の世界, 38, 999(1986)  
 尾森春艶 他: 核医学, 29, 709(1992)  
 山口博司 他: ホルモンと臨床, 27, 191(1979)  
 石原 他: 医学と薬学, 20(4), (1988)  
 高見博 他: ホルモンと臨床, 37(2), 151(1989)  
 Antem. Krstulovic: J. Chromatography. 16372(1979)  
 荒川規矩男 他: 臨床化学, 5(4), 385(1977)  
 中尾一和 他: 基礎と臨床, 25(13), 455(1991)  
 パスファーストBNP(株式会社LSIメディエンス, 第11版)  
 別所正美 他: Medical Immunology, 16(2), 189(1988)

麻疹IgM-EIA	厚生省監修:微生物検査必携,ウイルス・リケッチャ検査,第3版,48(1987)	■自己抗体 寒冷凝集反応 抗核抗体	工藤肇:日本臨床,26,330(1968) Gale, A. McCarty, et al:Antinuclea Antibodies, OXFORDUNIV. Press.(1984)
風疹IgG-EIA	厚生省監修:微生物検査必携,ウイルス・リケッチャ検査,第3版,48(1987)	抗DNA抗体 抗ds-DNA-IgG抗体 抗ss-DNA-IgG抗体 抗RNP抗体 抗Sm抗体 抗Sc170抗体 抗SS-A,SS-B抗体 IgG抗体(リウマチ因子) 抗トコトリア抗体 抗トコトリア抗体IgG	河合忠 編:臨床検査技術全書4,免疫血清検査(1989) 西村忠隆 他:医学と薬学,22(6),1482(1989) 田村明美:臨床検査機器・試薬,17(1),177(1994) 田村明美:臨床検査機器・試薬,17(1),177(1994) 西宮達也 他:臨床検査機器・試薬,16(1),117(1993) 西宮達也 他:臨床検査機器・試薬,16(1),117(1993) 野田敦也 他:医学と薬学,26(6),1297(1991) 藤松順一 他:リウマチ科,4(1),112(1990) Doniach O. et al:Clin. Exp. Immunol.1(1),237(1966) 上村朝輝 他:肝胆臓,22(1),149(1991)
風疹IgM-EIA	厚生省監修:微生物検査必携,ウイルス・リケッチャ検査,第3版,48(1987)	■細胞性免疫検査 T細胞・B細胞百分率 B細胞サブタイプ リンパ球幼若化検査 薬剤リンパ球刺激試験 NK活性 細胞表面マーカー検査	河合忠:日本臨床,1990年,増刊号,702 笠原和枝:日常検査としてのTリンパ球・Bリンパ球測定法(1982) 笠原和枝:日常検査としてのTリンパ球・Bリンパ球測定法(1982) 北見啓之 他:臨床免疫,15(9),727(1983) 安保徹:日本臨床,1990年増刊号,726 奥村康:Current Immunology,14(1979)
アデノウイルス抗原 水痘帯状疱疹ウイルスIgG-EIA	紺泰枝 他:臨床と微生物,17,483(1990) 厚生省監修:微生物検査必携,ウイルス・リケッチャ検査,第3版,48(1987)	■血液一般・骨髄像・特殊染色「 白血球数 赤血球数 血色素量 ヘマトクリット値 血小板数 網赤血球数 好酸球数 白血球分類自動化法 血液像鏡検法	臨床検査法提要改訂第35版(2020) 臨床検査法提要改訂第35版(2020) 臨床検査法提要改訂第35版(2020) 臨床検査法提要改訂第35版(2020) 日野志郎:臨床検査講座臨床血液学(第3版),181-185, 医歯薬出版(1993) 日野志郎:臨床検査講座臨床血液学(第3版),168-170, 医歯薬出版(1993) 臨床検査法提要改訂第35版(2020) 臨床検査法提要改訂第35版(2020) 臨床検査法提要改訂第35版(2020) 広範囲血液・尿化学検査:日本臨床,増刊号(1999) 臨床検査データブック 2019-2020 血液形態観察のすすめ方,30-40(1995) 白血球を追う,630-635(1991) 医学検査73-78(1996)
水痘帯状疱疹ウイルスIgM-EIA	平野勝也:医学と薬学,42,641(1999)	LE細胞 マリア原虫鏡検 フリリア鏡検 骨髄像 ALP染色 ヘルオキシダーゼ染色 PAS染色 鉄染色 SBB染色 エステラーゼ染色 エステラーゼ染色NaF抑制試験	日野志郎:臨床検査講座臨床血液学(第3版),168-170, 医歯薬出版(1993) 日本内科学会雑誌創立100周年記念号第91巻第9号 臨床検査法提要改訂第35版(2020) 臨床検査法提要改訂第35版(2020) 臨床検査法提要改訂第35版(2020) 臨床検査法提要改訂第35版(2020) 日野志郎:臨床検査講座臨床血液学(第3版),214-217, 医歯薬出版(1993) 臨床検査法提要改訂第35版(2020) 日野志郎:臨床検査講座臨床血液学(第3版),190-194, 医歯薬出版(1993) 臨床検査法提要改訂第35版(2020) 臨床検査法提要改訂第35版(2020) 河野均弥 他:グランドウォール臨床検査学第Ⅱ巻, 血液学(第1版),144-148(1983) 臨床検査法提要改訂第35版(2020) 臨床検査法提要改訂第35版(2020) 臨床検査法提要改訂第35版(2020)
サイトメガロウイルスIgG-EIA	厚生省監修:微生物検査必携,ウイルス・リケッチャ検査,第3版,48(1987)	■凝固・線溶系 アンチロビンⅢ FDP(フィブリン分解産物)(血液) FDP(フィブリン分解産物)(尿) D-Dダイマー PT(プロトロンビン時間) APTT (活性化部分トロンボプラスチン時間) フィブリゲン	日野志郎:臨床検査講座臨床血液学(第3版),266-268, 医歯薬出版(1993) 臨床検査法提要改訂第35版(2020) 臨床検査法提要改訂第35版(2020) 広範囲血液・尿化学検査:日本臨床,増刊号(1999) 臨床検査法提要改訂第35版(2020) 凝固検査の標準化の現状:プロトロンビン時間(PT)生 物試料分析 Vol.32, No5(2009) 臨床検査法提要改訂第35版(2020) 河野均弥 他:グランドウォール臨床検査学第Ⅱ巻, 血液学(第1版),426-427(1983) 臨床検査法提要改訂第35版(2020)
サイトメガロウイルスIgM-EIA	厚生省監修:微生物検査必携,ウイルス・リケッチャ検査,第3版,48(1987)		
EBウイルス HTLV-1抗体	日沼頼夫 他:臨床病理(特集35),179(1978) 山本直樹 他:免疫と血液,5,341(1983), 宮本寛治:医学と薬学,23,351(1990) Robbins, DJ et al:J. Viol Methods, 32,255(1991) Robbins, DJ et al:J. Viol Methods, 32,255(1991)		
HA抗体-IgG HA抗体-IgM HBs抗原	吉村英理子 他:基礎と臨床,29(17),4545(1995), 伊藤碩候:臨床と研究,53(8),2544(1976) 飯野四郎:図説B型肝炎とB型肝炎ウイルス,ライフサイエンス,(1985) 吉村英理子 他:基礎と臨床,29(17),4545(1995), 矢野右人 他:医療従事者におけるHBV感染予防, 内科,64,1014(1989) 白奥博文 他:現代医療,8(9),1103(1976) 安田清美 他:Prog. Med. 2389(1995) 加納右一郎 他:医学と薬学,11(4),1091(1984) 鈴木宏 他:総合臨床,24(9),2358(1975), 真弓忠 他:日本医師会雑誌,83,691(1980)		
HBs抗体	進士都 他:臨床検査機器・試薬,1027(1987) 高坂唯子 他:臨床成人病,12,1289(1982) 鈴木輝雄:医学と薬学,11,1359(1984) 広範囲血液・尿化学検査:日本臨床,増刊号(1999) 設楽光弘:臨床病理,136,1039(1988) 井村裕夫 他:癌と化学療法,14(5),1315,1322(1987) 井村裕夫 他:癌と化学療法,16(9)(1989) 広範囲血液・尿化学検査:日本臨床,増刊号(1999) 桑原正喜 他:臨床検査,30,81(1986) 野沢士朗:日産婦,41,1823(1989) 藤田和之 他:産婦総合誌,39(2),213(1991) 渡辺祐司 他:基礎と臨床,22(9),391(88) 石和久 他:臨床病理,37(3),301(1989) 吉岡久 他:臨床病理,35(11),1233(1987) 櫻林郁之助:臨床病理,34,705(1986) 桂木喜成:核医学,22(12),1809(1985) Bernard, AM et al:Clin. Chem,27,832(1981) 河原孝一 他:医学と薬学,40,917(1998) Bernard, AM et al:J. Immunol Methods,71,141(1984) 小塚加津夫:ホルモンと臨床,34(2),75(1986) 福田杏子 他:核医学,27,405(1990) 臨床検査法提要改訂第35版(2020) 広範囲血液・尿化学検査:日本臨床,第7版(2009)		
HBe抗原 HBc抗体-IgM HBc抗体	進士都 他:臨床検査機器・試薬,1027(1987) 高坂唯子 他:臨床成人病,12,1289(1982) 鈴木輝雄:医学と薬学,11,1359(1984) 広範囲血液・尿化学検査:日本臨床,増刊号(1999) 設楽光弘:臨床病理,136,1039(1988) 井村裕夫 他:癌と化学療法,14(5),1315,1322(1987) 井村裕夫 他:癌と化学療法,16(9)(1989) 広範囲血液・尿化学検査:日本臨床,増刊号(1999) 桑原正喜 他:臨床検査,30,81(1986) 野沢士朗:日産婦,41,1823(1989) 藤田和之 他:産婦総合誌,39(2),213(1991) 渡辺祐司 他:基礎と臨床,22(9),391(88) 石和久 他:臨床病理,37(3),301(1989) 吉岡久 他:臨床病理,35(11),1233(1987) 櫻林郁之助:臨床病理,34,705(1986) 桂木喜成:核医学,22(12),1809(1985) Bernard, AM et al:Clin. Chem,27,832(1981) 河原孝一 他:医学と薬学,40,917(1998) Bernard, AM et al:J. Immunol Methods,71,141(1984) 小塚加津夫:ホルモンと臨床,34(2),75(1986) 福田杏子 他:核医学,27,405(1990) 臨床検査法提要改訂第35版(2020) 広範囲血液・尿化学検査:日本臨床,第7版(2009)		
■腫瘍マーカー AFP	進士都 他:臨床検査機器・試薬,1027(1987) 高坂唯子 他:臨床成人病,12,1289(1982) 鈴木輝雄:医学と薬学,11,1359(1984) 広範囲血液・尿化学検査:日本臨床,増刊号(1999) 設楽光弘:臨床病理,136,1039(1988) 井村裕夫 他:癌と化学療法,14(5),1315,1322(1987) 井村裕夫 他:癌と化学療法,16(9)(1989) 広範囲血液・尿化学検査:日本臨床,増刊号(1999) 桑原正喜 他:臨床検査,30,81(1986) 野沢士朗:日産婦,41,1823(1989) 藤田和之 他:産婦総合誌,39(2),213(1991) 渡辺祐司 他:基礎と臨床,22(9),391(88) 石和久 他:臨床病理,37(3),301(1989) 吉岡久 他:臨床病理,35(11),1233(1987) 櫻林郁之助:臨床病理,34,705(1986) 桂木喜成:核医学,22(12),1809(1985) Bernard, AM et al:Clin. Chem,27,832(1981) 河原孝一 他:医学と薬学,40,917(1998) Bernard, AM et al:J. Immunol Methods,71,141(1984) 小塚加津夫:ホルモンと臨床,34(2),75(1986) 福田杏子 他:核医学,27,405(1990) 臨床検査法提要改訂第35版(2020) 広範囲血液・尿化学検査:日本臨床,第7版(2009)		
CEA CA19-9 BFP SLX STN CA125 CA15-3 CA546 CA602 CA72-4 BCA225 NCC-ST-439 DUPAN-2 SCC抗原 $\beta_2$ -マイクログロブリン $\gamma$ -セミアロブリン フェリチン定量 NSE SPan-1抗原 PSA	進士都 他:臨床検査機器・試薬,1027(1987) 高坂唯子 他:臨床成人病,12,1289(1982) 鈴木輝雄:医学と薬学,11,1359(1984) 広範囲血液・尿化学検査:日本臨床,増刊号(1999) 設楽光弘:臨床病理,136,1039(1988) 井村裕夫 他:癌と化学療法,14(5),1315,1322(1987) 井村裕夫 他:癌と化学療法,16(9)(1989) 広範囲血液・尿化学検査:日本臨床,増刊号(1999) 桑原正喜 他:臨床検査,30,81(1986) 野沢士朗:日産婦,41,1823(1989) 藤田和之 他:産婦総合誌,39(2),213(1991) 渡辺祐司 他:基礎と臨床,22(9),391(88) 石和久 他:臨床病理,37(3),301(1989) 吉岡久 他:臨床病理,35(11),1233(1987) 櫻林郁之助:臨床病理,34,705(1986) 桂木喜成:核医学,22(12),1809(1985) Bernard, AM et al:Clin. Chem,27,832(1981) 河原孝一 他:医学と薬学,40,917(1998) Bernard, AM et al:J. Immunol Methods,71,141(1984) 小塚加津夫:ホルモンと臨床,34(2),75(1986) 福田杏子 他:核医学,27,405(1990) 臨床検査法提要改訂第35版(2020) 広範囲血液・尿化学検査:日本臨床,第7版(2009)		
■免疫学的検査 C-反応性蛋白	臨床検査法提要改訂第35版(2020) 広範囲血液・尿化学検査:日本臨床,第7版(2009) 寺崎茂 他:臨床検査機器・試薬,6(3),729(1983) 加藤千秋 他:臨床検査機器・試薬,13(4),811(1990) 松山浩之 他:日本臨床検査自動化学会誌,15(6),696(1990) 清水流誠 他:臨床検査機器・試薬,8(6),1410(1985) 池田紀之:検査と技術,12(6),510(1965) 川島元:日本臨床検査自動化学会誌,13(2),138(1988) 川島元:日本臨床検査自動化学会誌,13(2),138(1988) 川島元:日本臨床検査自動化学会誌,13(2),138(1988) 川島元:日本臨床検査自動化学会誌,13(2),138(1988) 櫻林郁之介 他:臨床病理(特集 53,71(1983) 川島元:日本臨床検査自動化学会誌,13(2),138(1988) 松井香津代 他:医学と薬学,21(1),91(1989)		
IgG・A・M IgD 血清補体価 C3 C4 プレアルミン $\alpha_1$ -アンチトリプシン $\alpha_2$ -マクログロブリン セルプラスミン ハプトグロビン トランスフェリン $\alpha_1$ -マクログロブリン	臨床検査法提要改訂第35版(2020) 広範囲血液・尿化学検査:日本臨床,第7版(2009) 寺崎茂 他:臨床検査機器・試薬,6(3),729(1983) 加藤千秋 他:臨床検査機器・試薬,13(4),811(1990) 松山浩之 他:日本臨床検査自動化学会誌,15(6),696(1990) 清水流誠 他:臨床検査機器・試薬,8(6),1410(1985) 池田紀之:検査と技術,12(6),510(1965) 川島元:日本臨床検査自動化学会誌,13(2),138(1988) 川島元:日本臨床検査自動化学会誌,13(2),138(1988) 川島元:日本臨床検査自動化学会誌,13(2),138(1988) 川島元:日本臨床検査自動化学会誌,13(2),138(1988) 櫻林郁之介 他:臨床病理(特集 53,71(1983) 川島元:日本臨床検査自動化学会誌,13(2),138(1988) 松井香津代 他:医学と薬学,21(1),91(1989)		

<b>■凝固因子</b>	
凝固因子活性 (Ⅱ,Ⅴ,Ⅶ,Ⅷ,Ⅸ,Ⅹ,ⅩⅠ, ⅩⅡ,ⅩⅢ)	河野均弥 他.グラット・ウォール臨床検査学第Ⅱ巻, 血液学(第1版),417-427(1983) 臨床検査法提要改訂第35版(2020)
<b>■血小板機能,その他</b>	
血小板第4因子(PF-4)	臨床検査法提要改訂第35版(2020)
β-トロンボグロブリン(β-TG)	臨床検査法提要改訂第35版(2020)
フォン・ウィルブラント因子	広範囲血液・尿化学検査:日本臨床,増刊号(1999)
第Ⅷ因子インヒター定量	広範囲血液・尿化学検査:日本臨床,増刊号(1999)
第Ⅸ因子インヒター定量	広範囲血液・尿化学検査:日本臨床,増刊号(1999)
可溶性フィブリノゲン-複合体 (SFMC)	広範囲血液・尿化学検査:日本臨床,増刊号(1999)
プロテインC	広範囲血液・尿化学検査:日本臨床,増刊号(1999)
PIVKA-Ⅱ	広範囲血液・尿化学検査:日本臨床,増刊号(1999)
トロンビン・アンチトロンビンⅢ複合体 (TAT)	広範囲血液・尿化学検査:日本臨床,増刊号(1999)
<b>■尿一般検査</b>	
尿一般	臨床検査法提要改訂第35版(2020)
尿比重	臨床検査法提要改訂第35版(2020)
尿蛋白定量	臨床検査法提要改訂第35版(2020) 広範囲血液・尿化学検査:日本臨床,増刊号(1999)
尿糖定量	臨床検査法提要改訂第35版(2020) 広範囲血液・尿化学検査:日本臨床,増刊号(1999)
尿沈渣	臨床検査法提要改訂第35版(2020) 広範囲血液・尿化学検査:日本臨床,増刊号(1999)
<b>■髄液検査</b>	
髄液比重	臨床検査法提要改訂第35版(2020)
パンチー反応	臨床検査法提要改訂第35版(2020) 広範囲血液・尿化学検査:日本臨床,増刊号(1999)
トリプトファン反応	臨床検査法提要改訂第35版(2020) 広範囲血液・尿化学検査:日本臨床,増刊号(1999)
髄液細胞数	臨床検査法提要改訂第35版(2020)
髄液細胞種類	臨床検査法提要改訂第35版(2020)
髄液蛋白定量	臨床検査法提要改訂第35版(2020) 広範囲血液・尿化学検査:日本臨床,増刊号(1999)
髄液糖定量	臨床検査法提要改訂第35版(2020) 広範囲血液・尿化学検査:日本臨床,増刊号(1999)
髄液ケロール	臨床検査法提要改訂第35版(2020) 広範囲血液・尿化学検査:日本臨床,増刊号(1999)
<b>■穿刺液検査</b>	
穿刺液リハルク反応	臨床検査法提要改訂第35版(2020) 臨床検査法提要改訂第32版(2005) 広範囲血液・尿化学検査:日本臨床,増刊号(1999)
穿刺液蛋白定量	臨床検査法提要改訂第35版(2020) 広範囲血液・尿化学検査:日本臨床,増刊号(1999)
穿刺液沈渣 結石分析	臨床検査法提要改訂第35版(2020) 向原純雄:Arch Jpn Chir,50 476(1981)
<b>■糞便検査・寄生虫検査</b>	
寄生虫卵検査	山口富雄 編.臨床寄生虫学カラーアトラス,南江堂
虫体鑑別	山口富雄 編.臨床寄生虫学カラーアトラス,南江堂
糞便中ヒトヘモグロビン定量	臨床検査法提要改訂第32版(2005) 広範囲血液・尿化学検査:日本臨床,増刊号(1999)
<b>■病理・細胞診検査</b>	
組織標本作製	日本病理学会編 病理技術マニュアル「病理組織標本作製技術」上・下
免疫組織染色(酵素抗体法)	池田康夫 他.免疫組織化学検査,臨床検査増刊号, Vol.39, No.11,医学書院(1995)
細胞診検査	日中 昇 他.細胞診教本-その基礎と実際,宇宙堂(1975)
染色体検査	阿部達夫 編.腫瘍染色体アトラス,南江堂(1986)

## 専用容器一覧・取り扱い方法

容器形態・名称	検査項目・その他	容器形態・名称	検査項目・その他
<p>容器番号 1 滅菌スピッツ</p> 	<p>血清・血漿分離用 生化学検査一般 内分泌検査一般 血清学検査一般 尿一般検査</p> <p>容量 10mL</p> <p>内容</p> <p>貯蔵方法 室温</p>	<p>容器番号 4 血糖真空採血管</p> 	<p>血糖 HbA1c(NGSP)</p> <p>採血後軽く転倒混和</p> <p>容量 2mL</p> <p>内容 NaF,EDTA-2K</p> <p>貯蔵方法 室温 有効期間 製造後1年</p>
<p>容器番号 2 真空採血管分離剤入り</p> 	<p>生化学検査一般 内分泌検査一般 血清学検査一般</p> <p>容量 5mL</p> <p>内容 分離剤</p> <p>貯蔵方法 室温 有効期間 製造後1年</p>	<p>容器番号 5 血球算定用真空採血管</p> 	<p>血球算定 血液像 血液型</p> <p>採血後軽く転倒混和</p> <p>容量 2mL</p> <p>内容 EDTA-2K</p> <p>貯蔵方法 室温 有効期間 製造後1年</p>
<p>容器番号 3 真空採血管</p> 	<p>LE細胞 ケムテスト 血液型不適合</p> <p>容量 5mL 10mL</p> <p>内容</p> <p>貯蔵方法 室温 有効期間 製造後2年</p>	<p>容器番号 7 EDTA入り真空採血管</p> 	<p>レン活性 アンギオテンシン カテコールアミン</p> <p>採血後軽く転倒混和</p> <p>容量 5mL又は7mL</p> <p>内容 EDTA-2Na</p> <p>貯蔵方法 室温 有効期間 製造後2年</p>

## 専用容器一覧・取り扱い方法

容器形態・名称	検査項目・その他	容器形態・名称	検査項目・その他
容器番号 8 血液凝固用採血管 (真空採血管) 	PT・APTT フィブリノゲン ヘパプラスチンテスト 凝固因子 血液凝固検査全般  採血後軽く転倒混和  容量 1.8mL  内容量 0.2mL 3.2%クエン酸ナトリウム  貯蔵方法 室温 有効期間 製造後1年	容器番号 12 FDP用採尿管 	尿中FDP  容量 尿 2mL  内容 アプロチニン 精製ゼラチン デヒドロ酢酸 ナトリウム  貯蔵方法 室温 有効期間 製造後2年
容器番号 9 ヘパリン入り (真空採血管) 	血中鉛 血中ホルマリン リポ蛋白リパーゼ <sup>*</sup>  採血後軽く転倒混和  容量 10mL  内容 ヘパリンNa  貯蔵方法 室温 有効期間 製造後2年	容器番号 13 過塩素酸入り 	乳酸 ビルビン酸  採血後直ちに血液1.0mlを正確 に入れ転倒混和後遠心分離し 上清を汎用スピッツに移し凍結保 存  採血量 1.0mL  内容量 1.0mL 1N過塩素酸  貯蔵方法 冷蔵 有効期間 製造後1ヶ月
容器番号 11 血中アンモニア 	血中アンモニア  採血後直ちに血液1.0mlを正確 に入れ転倒混和後遠心分離し 上清を汎用スピッツに移し凍結保 存  採血量 1.0mL  内容量 4mL 除蛋白液  貯蔵方法 冷蔵 有効期間 6ヶ月	容器番号 14 グルカゴン用 	hANP  採血後直ちに冷却遠心で血漿 分離し上清を凍結保存  容量 2mL  内容 アプロチニン EDTA2Na  貯蔵方法 室温 有効期間 製造後2年

## 専用容器一覧・取り扱い方法

容器形態・名称	検査項目・その他	容器形態・名称	検査項目・その他
容器番号 15 $\beta$ -TG, PF4用  	$\beta$ -TG PF4  容量 4.5mL  内容 テオフィリン, アデニン シピリタモール, クエン酸Na, クエン酸  貯蔵方法 遮光冷蔵 有効期間 製造後1年	容器番号 19 遮光EDTA管 (真空採血管)  	ビタミンB <sub>1</sub> (チアミン) ビタミンB <sub>2</sub> (リボフラビン)  容量 4mL  内容 EDTA-2Na(遮光)  貯蔵方法 室温 有効期間 製造後1年6ヶ月
容器番号 17 エンドトキシン(血液用) $\beta$ -D-グルカン  	エンドトキシン(血液用) $\beta$ -D-グルカン  容量 2mL  内容 ヘパリンナトリウム  貯蔵方法 室温 有効期間 製造後1年	容器番号 20 全血凍結検体用 (真空採血管)  	セロニン シクロスポリン  容量 2mL  内容 EDTA-2K  貯蔵方法 室温 有効期間 製造後1年
容器番号 18 HDV/RNA専用容器 (真空採血管分離剤入り)  	HDV/RNA 採血後遠心分離し血清分離の 確認後、容器ごと凍結保存  採血量 5mL  内容 分離剤  貯蔵方法 冷蔵 有効期間 製造後1年	容器番号 21 結核菌INF- $\gamma$ 測定 (QFT-Plus: クオンティフェロンプラス)  	結核菌INF- $\gamma$ 測定 (QFT-Plusクオンティフェロンプラス)  容量 1mL  内容 専用メディアウム  貯蔵方法 4~25°C(冷蔵推奨) 有効期間 各容器に記載

## 専用容器一覧・取り扱い方法

容器形態・名称	検査項目・その他	容器形態・名称	検査項目・その他
<p>容器番号 33 糞便中ヒトヘモグロビン 用採便容器</p> 	<p>糞便中ヒトヘモグロビン (ラテックス法)</p> <p>容量</p> <p>内容 保存液</p> <p>貯蔵方法 室温 有効期間 製造後1年</p>	<p>容器番号 45 スワブキット3号</p> 	<p>細菌学的検査 真菌検査</p> <p>容量</p> <p>内容 アミース寒天</p> <p>貯蔵方法 室温 有効期間 1年</p>
<p>容器番号 41 滅菌スピッツ</p> 	<p>細菌学的検査 抗酸菌検査 真菌検査 尿一般検査 髄液, 穿刺液, 胃液 十二指腸液検査</p> <p>容量 10mL</p> <p>内容</p> <p>貯蔵方法 室温 有効期間</p>	<p>容器番号 46 滅菌喀痰容器</p> 	<p>細菌学的検査 真菌検査 抗酸菌検査</p> <p>容量 10mL</p> <p>内容</p> <p>貯蔵方法 室温 有効期間 1年 (外箱に記載)</p>
<p>容器番号 42 採便容器</p> 	<p>便細菌培養同定 便中ロタウイルス抗原 虫卵検査</p> <p>容量 拇指頭大</p> <p>内容</p> <p>貯蔵方法 室温 有効期間</p>	<p>容器番号 47 好気性Fボトル</p> 	<p>好気性菌培養同定 真菌培養同定</p> <p>容量 3~10mL</p> <p>内容 培地</p> <p>貯蔵方法 室温 有効期間 有効期間内 (ボトルに記載) 各医療機関でご用意ください</p>

## 専用容器一覧・取り扱い方法

容器形態・名称	検査項目・その他	容器形態・名称	検査項目・その他
容器番号 48 嫌気性Fボトル 	嫌気性菌培養同定  容量 3~10mL  内容 培地  貯蔵方法 室温 有効期間 有効期間内 (ボトルに記載) 各医療機関でご用意ください	容器番号 53 クラミジア・トラコマチス 核酸同定(尿検体用) 	クラミジア・トラコマチス核酸同定 (リアルタイムPCR法)  容量  内容 専用メディアウム  貯蔵方法 室温 有効期間 製造後1年
容器番号 49 ANAポートビケン 	嫌気性菌培養同定  容量 3mL  内容 培地  貯蔵方法 冷蔵 有効期間	容器番号 54 クラミジア・トラコマチス 核酸同定 (泌尿器・子宮頸管分泌物検体用) 	クラミジア・トラコマチス核酸同定 (リアルタイムPCR法)  泌尿器・子宮頸管分泌物検体用  容量  内容 専用メディアウム  貯蔵方法 室温 有効期間 製造後1年
容器番号 52 ヘリコポータ 	ヘリコクター・ピロリ  容量 10mL  内容 培地  貯蔵方法 冷蔵 有効期間 4ヶ月	容器番号 55 新型コロナウイルス (RNA同定) (鼻咽頭ぬぐい用) 	新型コロナウイルス (RNA同定)  鼻咽頭ぬぐい用  容量 15mL  内容 鼻咽頭より検体を採取後綿棒 を容器に入る長さに切り、生理 食塩水またはPBSを2mL前後 添加してください  貯蔵方法 室温 有効期間 製造後5年

## 専用容器一覧・取り扱い方法

容器形態・名称	検査項目・その他	容器形態・名称	検査項目・その他
容器番号 56 新型コロナウイルス (RNA同定) (唾液)	新型コロナウイルス (RNA同定)  唾液採取用  容量 50mL  内容  貯蔵方法 室温 有効期間 製造後3年	容器番号 76 プレサーブサイト液	細胞診検査  容量 20mL  内容 細胞保存液  貯蔵方法 室温 有効期間 有効期限内
容器番号 71 細胞診自己採取容器	婦人科細胞診検査 (子宮ガン検査用)  容量  内容 細胞保存液  貯蔵方法 室温 有効期間 1年	容器番号 77 病理組織検査容器	病理組織検査  容量 8mL  内容 10%中性ホルマリン  貯蔵方法 室温 有効期間 1年
容器番号 73 喀痰細胞診容器 (蓄痰用)	細胞診検査 (肺ガン検査用)  容量 30mL  内容 細胞保存液  貯蔵方法 室温 有効期間 1年	容器番号 78 細胞性免疫検査ヘパリン入り (真空採血管)	細胞性免疫検査血液  容量 5mL 10mL  内容 ヘパリン  貯蔵方法 冷蔵 有効期間 製造後2年

## 専用容器一覧・取り扱い方法

容器形態・名称	検査項目・その他	容器形態・名称	検査項目・その他
<p>容器番号 80 ウイルス遺伝子検査用 (血漿)(8ml採血用)</p> 	<p>HIV-1定量/リアルタイムPCR法</p> <p>採血後遠心分離し血漿分離の確認後、容器ごと凍結保存</p> <p>容量 8mL</p> <p>内容 分離剤 EDTA-2K</p> <p>貯蔵方法 室温 有効期間 製造後1年</p>	<p>容器番号 83 細胞性免疫検査</p> 	<p>組織・肺洗浄液など 血液・骨髄液以外の材料用 ※万一濁りがあつたり液色が真赤になったものは、使用しないで下さい。材料は無菌的に移し浮遊させて下さい。(※容器は到着後、凍結保存して下さい。(ドライアイス不可))</p> <p>容量</p> <p>内容 10%FBS加RPM1640</p> <p>貯蔵方法 到着後凍結(ドライアイス不可) 有効期間 製造後1年</p>
<p>容器番号 81 血液型検査専用管 (CPD入り真空採血管)</p> 	<p>Rh-Hr式血液型 (5因子)</p> <p>容量 5mL</p> <p>内容 クエン酸ソーダ、クエン酸 リン酸2水素Na、ブドウ糖</p> <p>貯蔵方法 室温 有効期間 製造後1年半</p>	<p>容器番号 84 細胞性免疫検査骨髄用</p> 	<p>骨髄液 使用時は37℃で解凍して下さい。</p> <p>容量 2mL</p> <p>内容 培養液</p> <p>貯蔵方法 到着後凍結(ドライアイス不可) 有効期間 製造後1年</p>
<p>容器番号 82 ウイルス遺伝子検査用 (血清)(5ml採血用)</p> 	<p>HBV-DNA定量/リアルタイムPCR法</p> <p>容量 5mL</p> <p>内容 分離剤</p> <p>貯蔵方法 室温 有効期間 有効期限内</p>	<p>容器番号 85 エンドキシン (透析液用)</p> 	<p>透析液</p> <p>容量 4mL</p> <p>内容 安定化剤入り</p> <p>貯蔵方法 冷蔵 有効期間 製造後1年</p>

## 専用容器一覧・取り扱い方法

容器形態・名称	検査項目・その他
<p>容器番号 86 クラミジア・トラコモナス 核酸同定 (泌尿器・子宮頸管分泌物 検体用)</p> 	<p>クラミジア・トラコモナス核酸同定 (TMA法)</p> <p>容量 2.9mL</p> <p>内容 専用メディアウム</p> <p>貯蔵方法 室温</p>
<p>容器番号 87 クラミジア・トラコモナス 核酸同定 (うがい液・尿検体用)</p> 	<p>クラミジア・トラコモナス核酸同定 (TMA法)</p> <p>容量 2mL</p> <p>内容 専用メディアウム</p> <p>貯蔵方法 室温</p>
<p>容器番号 88 HIV専用</p> 	<p>HIV抗原・抗体 HIV-1抗体/WB法 HIV-2抗体/WB法 他</p> <p>容量 5mL</p> <p>内容 血清分離剤 凝固促進用シリカ微粒子</p> <p>貯蔵方法 室温 有効期間 製造後1年</p>